

## 放射線治療センター開設

平成27年春に着工した放射線治療棟（南館）が、いよいよ完成します。

この棟の1階のすべてのスペースが、当院の放射線治療センターとなります。

この治療センターには、画像融合を用いた正確な位置決めができ、臓器ごとに放射線の強度を変更した照射や、ピンポイント照射などが可能な、最新の放射線治療装置を導入しています。

現在は、1月末の臨床稼動に向け、当院の放射線治療スタッフが細心の注意を払って、この治療装置の最終の準備作業を行っているところです。

また、高性能の治療装置を使いこなし、最良の治療をするために、経験豊富な医療スタッフも配属されます。

今や、国民の半分が、一生の間に何らかのがんに罹り 患かんする時代となりました。がんをめぐる治療法も目まぐるしく変化し、ここ1、2年の間で、疾患の治療方法が大幅に変更されました。

当院では、この放射線治療センターで行う放射線療法と、従来から実施している外科治療や抗癌剤治療などを組み合わせて、より良いがん治療を患者さんに提供できるように、各診療科の主治医と連携し、何が患者さんにとって最も良い治療方法となるかについて、積極的に話し合っています。

治療というものは、一人の医師や一診療科の医療スタッフだけでできるものではありません。各診療科のスタッフや、医師以外の職種のスタッフと協力連携し、チームとして医療を行わなければ、良い治療はできません。

このチーム医療は、医療の各部署においても重要なものですが、とりわけ放射線治療は、最も職種間が連携するチーム医療が必要とされる部門の一つです。患者さんを間違いなく順番どおり案内する事務職員、毎日通院する患者さんの表情や動作から、体調の変化を感じ取り報告する看護師、正確に滞りなく照射を行う放射線技師、放射線治療装置や放射線の品質管理、治療計画に精通した医学物理士、もちろん放射線治療の専門医師も含め、これらの治療スタッフがチームを組み、情報を共有することで、安全で正確な治療が可能となります。

私は、平成28年1月1日付けで、当院の放射線治療科部長として着任し、この放射線治療センターで患者さんの治療にあたります。

私一人では微力ですが、各科の主治医やスタッフと協力し、チーム医療を合言葉に、市民の皆さんの役に立てるよう、懸命に努力します。

〔放射線治療科部長 横川正樹〕